

関東良陵だより

東北大学関東良陵同窓会

春季総会のご案内

薫風の候、会員各位には、益々ご清栄のことと大慶に存じ上げます。

さて、東北大学良陵同窓会関東連合会春季総会を下記により開催したいと存じますので、なにとぞ万障お繰り合わせのうえ、ご出席を賜りたくご案内申し上げます。

今回の総会では、特別講演を照井正先生（昭和五十六年卒、現日本大学医学部附属板橋病院 副院長）にお願い致しました。

テーマは「皮膚科とサッカーからみた東北大学と日本大学の違い」（講演要旨後述）と題して、照井先生ご自身が優れたサッカーコーチ、そして皮膚科学の教授として活躍された貴重な体験に基づくご講演をして頂きます。

懇親会のアフターディナーイベントは、例年と異なり、小生が拙いものでありますが、本職のマジックの一部をご披露させていただく予定になっております。

若葉・青葉に彩られた風薫る季節にふさわしい充実した総会になるものと思いますので、奥様はじめご家族の皆様ともども、ご出席くださいますよう、皆々様のお越しを心からお待ち申し上げます。

東北大学良陵同窓会

関東連合会 会長

押田茂實

総会プログラム

一、期 日 平成三十年六月十六日（土）
二、場 所 市ヶ谷私学会館アルカディア
電話03（3261・9921）
JR・地下鉄市ヶ谷駅から徒歩二分

三、受付開始 午後四時より
四、総 会 午後四時三〇分より開会
開会の辞
会長挨拶
経過報告
各役員報告・その他
閉会の辞

五、特別講演 「皮膚科とサッカーからみた東北大学と日本大学の違い」
照井正先生（日本大学）

六、懇親会 午後六時より開会
アフターディナーイベント
押田茂實（本会会長）のマジック
会員 一〇〇〇〇円

七、会 費 ご家族 五〇〇〇円（一人）

八、出席申込み 同封の振替用紙に会費と共に
（会費納入のお願い 本総会会費及び年会費のご納入を四
ページ記載要領にてお願いします。）

下さい。

同封の振替用紙に会費と共に

総会特別講演 抄録

皮膚科とサッカーからみた

東北大学と日本大学の違い

照井 正(昭和56年卒)

日本大学医学部

皮膚科学系皮膚科学分科野

私事ですが東京オリンピックが開催される2020年の3月末に日本大学を退任する予定であることを押田茂實会長にお話したところ、今年6月開催予定の関東良陵同窓会でお話をするようにご依頼を受け、大変光栄なことに即答で承諾いたしました。その際、東北大学と日本大学で行ってきた皮膚科関連の話をすれば良いだろうと高を括っていました。今年3月、押田先生が私の部屋を直接訪問され、関東良陵同窓会講演のタイトルを「皮膚科とサッカーからみた東北大学と日本大学の違い」とするよう命令がありました。一瞬返答に困ってしまいましたが、先輩の指示にあらがうことはできませんので、このタイトルに沿う内容でお話することにいたしました。



照井 正先生

東北大学と日本大学のサッカーの歴史に関して各OB会と連絡を取り資料を取り寄せ中であり、サッカーに関連した内容をこの抄録に詳しく記載することはできませんが、両校サッカー部創部から60年を越え長い歴史がある伝統校であることは間違いありません。私が仙台でコーチをしていた頃、東日本医科学学生大会(東医体)優勝を5回経験しています。さらに、日本大学に来てからも、部長として3回の東医体優勝に立ち会ったことがありました。加えて両校での全日本医科学学生大会(全医体)の優勝数は日大での5連勝を含めて合計8回です。私としては偶然だと思っただけですが、サッカー部OBの皆様からは、私の指導の賜とお褒めの言葉を頂戴して大変有難く思っております。

さて、多くの先生方は日本大学についてご存じないと思いますので、ご紹介させて頂きます。日本大学の創立は明治22年と古く、松下村塾出身の山田顕義先生が創立者です。山田顕義先生は日本初代司法大臣であり、國學院大學も創設しています。日本大学専門部医学科の創設は大正14年で、初代学部長は額田豊先生です。額田先生は、後に東北大学医学部の前身である帝国女子専門学校を創立しています。日本大学医学部皮膚科泌尿器科教室の開設は昭和2年です。初代の教授は小津小次郎先生(東京帝国大学)であり、のちに医学部長になつていきます。昭和20年から東北帝国大学出身で当時国

立北京大学医学部皮膚科学教室教授であつた三浦修先生が二代目の教授に就任されました。昭和34年に皮膚科および泌尿器科、性病科教室が分離独立しています。その後、東京大学出身の教授に続いて、二代に亘り日本大学出身の先生が教授をお務めになり、平成16年私が六代目の教授になりました。私が東北大学在職中は皮膚の免疫・炎症・アレルギーをテーマに研究をしていました。症患で言いますと乾癬や掌蹠膿疱症、アトピー性皮膚炎が対象でした。東北大学に在職中、医局員の人数も多く、研究費も豊富にありましたので、自由に研究を進める事ができました。東北大学は研究第一主義をモットーに、独立自尊の雄の集まりで競争も激しかったと記憶しています。日本大学に移ってから、教室員の数は半分に減り、研究費も少なくなりました。国立大学と異なり、国からの補助金が少ないためか、施設規模や機器に限られ、研究も共同利用のセンターで実施しています。少ない医局員で診療報酬を上げなければなりませんので、研究の数を限定し、複数で研究に当たってきました。

日本大学では基礎研究を前面に出して医局運営をすることはできませんが、アットホームな雰囲気の中、「良き臨床医の育成」の理念を叶えられるように臨床教育研究に励んでいます。仙台でできたことが日本大学ではできないことが多数ありますが、一方で仙台では得られない経験を東京でしています。

首都圏に13の大学があり、それぞれ特徴のある仕事をしていますので、各方面での最先端の知識をより早く得ることが出来ます。また、新薬の治験に關しても指導的な立場になることがあり、仙台では得難い経験をしています。残り2年ではありますが、残された時間を有効に使い、少しでも多くの知識と経験を後輩に残せれば日々努力しています。

定年後、どのような道に歩むのかまだ決めていませんが、仙台には帰らずに、しばらく東京で仕事をすると決めています。

この抄録には、今思いつく内容を記載させて頂きました。4月から6月にかけて資料を収集する中で興味ある事柄が見つければ、採用していきますので、抄録と異なる内容になるかもしれませんが、その際にはご容赦お願い申し上げます。(文責 照井 正)

照井 正先生 略歴

- 昭和56・3 東北大学医学部卒業
- 同 59・10 同大学医学部附属病院 院助手皮膚科勤務
- 同 63・10 米国ユタ大学留学
- 平成3・4 東北大学医学部附属病院 助手皮膚科勤務
- 同 3・5 同大学同病院講師
- 同 12・4 同大学大学院医学系研究科助教皮膚科勤務
- 同 16・7 日本大学医学部教授
- 同 27・7 日本大学医学部附属板橋病院副院長 現在に至る。

女性医師部会会長に

就任して

飯野ゆき子

(昭和四十三年卒)



飯野ゆき子先生

最近とても嬉しい医学ニュースをみました。タイトルは「女性vs男性医師、患者死亡に差」英国の情報企業が運営するサイト Allmetric.com は、毎年社会に与える影響などを、さまざまなメディアにおいて取り扱われた学術論文に関する情報を定量化し評価した結果を発表しています。つまりインパクトファクターや引用回数よりも、幅広く社会的影響を考慮してのランキングなのです。そのサイトで、2017年最も注目された学術論文トップ100で「Comparison of postoperative outcome among patients treated by male and female surgeons: a population based matched cohort study」という論文が第3位に輝きました。論文の内容は、カナダ・オンタリオ州でのコホート研究で、女性外科医が治療を担当した患者の院内死亡率や再入院率が、

男性外科医の担当患者に比べ有意に低下していたというものです。(JAMA Intern Med 2017;177:206-213) この記事は m3.com (医療向けのサイト) から発信され、たまたま目にしました。おそらくご覧になった先生もいらっしゃると思います。(ちなみに第一位は、炭水化物摂取量が多いほど全死亡リスクが高まっていた一方、総脂質や各種脂質の摂取量と全死亡や心血管症リスクには炭水化物のようなネガティブな相関はなかったとの論文。第二位は、医学部博士課程の学生のメンタルヘルスが危機的状況にあるとの調査論文) この記事を読んで、ちよつと女性として誇らしく、また、女性医師はもっと自信を持つべきと感じました。

を田中佐喜子先生から引き継ぐことになりました。この部会は平成十年に発足し、初代部会長は故小林啓子先生(S35年卒)がお務めになりました。この会の発足に際しては、当時の神津康雄支部長、信田重光幹事長の多大なるご指導とご尽力があったと伺っております。平成十年七月に、第一回の女性医師部会が開催され、それ以来東日本大震災の年(日23年)を除き毎年七月に定例会が開かれております。平成十六年から田中佐喜子先生(S43卒)が第二代の部会長としてこの会の発展のためにご尽力下さいました。今年度、すなわち平成三十年から僭越ながら私が第三代の部会長を務めさせていただきます。この会では毎回、ゲストスピーカーをお招きし、ご講演をお願いしております。

私も平成二十一年の第十二回の女医部会で講演する機会を与えていただきました。講演のあとの懇親会では、先輩ならびに後輩の女性医師の先生たちと楽しいひとときを過ごしました。残念なことにこの女性医師部会に出席なさる先生はそれほど多くはありません。私自身も講演で呼び頂いたのが初めての出席でした。何か敷居が高かったのです。また男女共同参画が叫ばれている昨今、今更女性医師のみが集まって部会を開く事に対する違和感も若干ありました。しかし、その想いは参加してみても払拭されませんでした。先輩の先生方の「苦労話や、若い先生たちの active な面白いお話など聞いて大変楽しい時を過ごしました。良陵会の女性医師は皆とても素晴らしく色々学ぶことが多いと思います。また、各科の垣根を超えての情報交換もできます。私はこれから数年間、部会長としてこの会をさらなる活発化に向けて努力する所存です。ぜひ例会には多数の女性医師のご参加をお願いしたいと思います(本人幹事女性医師部会担当)

*本年度(平成三十年)女性医師部会は、平成三十年七月七日(土)に開催予定です。詳細は後日皆様宛にご通知致します

関東連合若手会開催

平成三十年三月十日、飯田橋駅ビル『北海道』で、今年の関東連合若手会が行われた。一時中断していたわけであるが、再開から三年目を迎えた。若手の連絡先は、移動が激しいのでつかわるのが難しいが、だんだん住所網が整備され、今回は37人の参加となり、盛会であった。一番の若手が平成23

年卒、同20年卒、同15年卒、同13年卒と続き平成9年卒が二人、同5年卒、同2年卒、同元年卒が二人、後は昭和卒で若手会としては、やや高齢の参加者であった。各大学の教授・准教授や各病院の部長等と若手医師をつなぐのが、この会の主な目的であるから、現役教授・准教授も6人参加など、若手の刺激となり、よい相談もできたと思われる。各自の自己紹介



若手会にご出席の先生方

も終わり、来年の参加を約して、お開きとなった。(文責・岩瀬光、昭和59年卒、本会幹事長)

関東の若手の皆さんで、まだ若手会の手紙の行っていない方は、岩瀬のメール koimaseg@nifty.com まで是非連絡ください。

続・一呼吸器外科医の歩みと挑戦 荒井他嘉司(昭和36年卒)

2017年の総会の講演にて、テーマとさせて頂きました。DVDを用いたLiving Anatomy「挑む」につき、補足・説明をさせて頂いたいただきます。

私が肺の区域解剖に興味を持つきっかけは(財)結核予防会で肺の区域解剖・肺区域切除のバイオニア山下英秋先生、塩澤政俊先生に師事し、肺区域に関する勉強をしたことにあります。この恩師の研究業績は我が国の肺区域解剖・区域切除に関するバイブル的存在として現在に至っています。肺の区域解剖を平面的イラストで理解することは初心者にとつて困難であるという自分の体験から、65歳退官後に若手医師がパソコンで区域解剖を立体的に学べるコンピュータグラフィックス(CG)画像の作成に取り組みました。全くの独学で3DCGを学び、肺区域解剖のCG立体像の作成に成功して、多くのバリエーションについて解説するDVDを出版(アトムス社2008年)するに至りました。そうこうしているうちに世の中は胸部CTから肺区域解剖の立体的画像を作成する開発が進んで来ましたが、有

名なF社の肺の画像ソフト開発には私の肺区域CG画像が役立つています。今や胸部3D-CT画像により生きた肺の解剖すなわちLiving Anatomyが観察できるようになりました。私はそれらを分析しているうちに先達の研究成果との違いに気づきました。先達の研究は摘出肺での解剖であり、生きた解剖ではないことにその最大の理由があると考えました。そこで肺の歴史的解剖図とLiving Anatomyとの違いを対比検証する研究を3年前から始めました。八十歳となった私が完遂できるか分かりませんが、日常業務の合間に現在も日々挑戦しております。そして肺のLiving Anatomy図譜を完成させるのが、私の夢であります。(本会幹事 国立災害医療センター名誉院長・公財)結核予防会複十字病院顧問)

故・小林啓子先生思い出の記

平成二十九年六月九日に小林啓子先生が不帰の人となり、ほぼ一年が経ちましたが、私の脳裏には懐かしい先生の面影が今なお去来します。

先生とお会いしたのは、関東東良陵会に出席したときで、その会で「関東東良陵同窓会女医部会」初代会長に任命されました。男性の先輩方の多い中で、紅一点輝いておられました。先生は昭和35年に東北大医学部を卒業、同36年東大眼科入局。そこでは「女帝」の愛称で呼ばれたそうです。その後、昭和44年開業をされ、地域の方々

のために、よろず相談を引き受け、仲人役もこなしておられたとか。その間三人のお子様を育てられ、趣味のゴルフは夫君と楽しまれて年間百二十五ラウンドの記録を作られたと聞いております。また、俳句では日本経済新聞の句会で年間第一位を頂いております。夫君の病をネタにした「心筋に新生血管バラ芽吹く」の一句があります。とにかく、お世話になり有難うございました。(本会幹事・田中佐喜子)



在りし日の小林啓子先生

*訃報 永井一成先生(昭和29年卒・神奈川支部)は、平成三十年一月十一日、逝去されました。合掌

*本年度(平成三十年)年会費
三千元(総会会費)本人一万円
「家族一人五千元を同封の振込み用紙により、ご納入をお願い致します。」

東北大学良陵同窓会

関東連合会 東京支部

T247-0072

鎌倉市岡本二丁目一七〇四

TEL & FAX

〇四六七(四五)〇二八七

「関東東良陵だより」第四十五号

平成三十年五月発行